<オープン化、国際化する研究におけるインテグリティ2022 (JST調査報告書/令和4年5月) > エグゼクティブサマリーから

- ▶ 利益相反に重点を置いた研究インテグリティの強化は、研究セキュリティの強化のための有効な手段である・・(略)。
- ▶ (略)・・研究インテグリティの強化に向けた取組がはじまったばかりで経験が少ないことから、各大学・研究機関等の国際研究協力において懸案となった事例を含め、・・(略)・・・知見を蓄積していくことにより、マネジメント能力を高めていくことが望ましい。
- ▶ 各大学・研究機関等においても、研究インテグリティの強化を基盤として、リスクマネジメントカ、経営・運営力を強化することにより、安全保障輸出管理の規制遵守、知的財産の管理、サイバーセキュリティ対策、データ保護、外国人訪問者の管理、施設・設備のアクセス管理等の研究セキュリティの強化に向けた取組を充実していくことも重要である。

### 【YNUの現状】・・・直近の実績データ

海外機関等の兼業(12件)、海外共同研究(政府0件、企業4件)、海外受託研究(政府0件、企業1件)、経済産業 大臣輸出許可申請(1件)、海外知財(共有特許0件、実施許諾2件)、CSC等政府派遣留学生31人

現時点で懸念リスク事象は僅少 = = > 当面、安全保障輸出管理と利益相反マネジメントによる重点実施

## 研究インテグリティ連絡会【新設】

教職員服務担当 兼業手続等担当 (人事·労務課) 研究契約等担当 物品等受入担当 (財務課) 海外交流等担当 留学生受入担当 (グローバル推進課)

公正研究担当 輸出管理担当 (研究推進課)

産学官連携担当 利益相反担当 (産学·地域連携課)

## 各担当相談窓口所管課との情報共有からリスク分析



#### <想定される事前相談例>

- (1) 外国機関等との兼業、クロスアポイント、栄誉職称号等(有償無償を問わず義務的約束を含む)
- (2) 外国機関等との共同研究契約、受託研究契約等(0円研究契約を含む)
- (3) 外国機関等からの寄附金、助成金、物品等の受入れ
- (4) 外国機関等の研究員受入又は外国人留学生の受入、海外機関等への教職員派遣
- (5) 外国機関等への安全保障輸出管理(理工系大学院学生、外国人訪問者等を含む)
- (6) 前各号のほか、外国機関等との学術交流、産学官連携(知財を含む)、人的・物的支援(無償含む) ※縣念リスクの範囲(第2条)、縣念リスク報告義務(第4条)、秘密保持(第5条)を設置要項に設定



学長・担当理事・副学長に報告 = = >研究インテグリティの観点による懸念リスクの経営判断

## YNU研究者(教員·大学院生等)



学内ルールによる申請・届出(情報の開示)

## 部局長(事務担当係=懸念リスクの事前把握)

(外国人教員採用、兼業承認、共同研究等受入承認、物品等受入承認、 留学生受入許可、海外機関連携協定締結、産学官連携協定締結等)

#### 研究インテグリティの視点

外国機関等との研究活動が委縮しないよう留意し、懸念リスクを研究者個人任せとはせず、大学自らが説明責任を果たすことで、海外での学術交流活動や産学官連携活動をYNU研究者が安心して積極的に推進できる研究基盤環境を構築することにある。

懸念リスクの相談

<研究の国際化やオープン化(外国機関等との学術交流や産学官連携)に伴う新たな懸念リスク>

- ①利益相反・責務相反が適切に管理されない懸念リスク、②技術流出・情報流出につながる懸念リスク
- ③研究・教育活動に影響する懸念リスク、④研究妨害の懸念リスク、⑤大学の信頼低下の懸念リスク

#### <想定される事前相談例>

- (1) 外国機関等との兼業、クロスアポイント、栄誉職称号等(有償無償を問わず義務的約束を含む)
- (2) 外国機関等との共同研究契約、受託研究契約等(0円研究契約を含む)
- (3) 外国機関等からの寄附金、助成金、物品等の受入れ
- (4) 外国機関等の研究員受入又は外国人留学生の受入、海外機関等への教職員派遣
- (5) 外国機関等への安全保障輸出管理(理工系大学院学生、外国人訪問者等を含む)
- (6) 前各号のほか、外国機関等との学術交流、産学官連携(知財を含む)、人的·物的支援(無償含む)

# 研究インテグリティ連絡会【新設】

教職員服務担当 兼業手続等担当 (人事·労務課) 研究契約等担当 物品等受入担当 (財務課) 海外交流等担当 留学生受入担当 (グローバル推進課) 公正研究担当 輸出管理担当 (研究推進課)

産学官連携担当 利益相反担当 (産学・地域連携課)

各担当相談窓口所管課との情報共有からリスク分析

報告

学長・担当理事・副学長==>研究インテグリティの観点による懸念リスクの経営判断